**Ⅰ　相談状況について**

**香川県子どもの生活状況調査　　回答票**

※　相談の内容を問わず、あなた（貴団体）が受ける相談状況**全般の概要**についてお答えください。

**１　あなた（貴団体）は、次のどれに該当しますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。**

|  |
| --- |
| １　保育所・幼稚園　　　　２　ＳＣ・ＳＳＷ　 　３　教育支援機関　　４　高等学校５　母子・父子自立支援員　６　福祉事務所　　　 ７　児童相談所　　　８　児童福祉施設９　民生委員・児童委員　 10　社会福祉協議会　11　NPO法人 |

**２　あなた（貴団体）が受けている相談の状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
| 相談件数（延べ） | 件 | 件 | 件 |
| 相談人数（実人数） | 人 | 人 | 人 |
| 従来から多くある相談内容 |  |
| 最近増加傾向にある相談内容 |  |
| すべての相談のうち、相談から支援（他機関へのつなぎは含まず）に至る割合 | 約　　　　　　％程度（おおよそで結構です） |
| すべての相談のうち、他機関へのつなぎに至る割合 | 約　　　　　　％程度（おおよそで結構です） |

**Ⅱ　相談の背景に貧困を伴うと考えられる案件について**

※　あなた（貴団体）が受ける相談のうち、**背景に貧困を伴うと考えられる案件の概要、全般的傾向**についてお答えください。なお、相談の主な内容が経済的な困窮でない場合でも、その他の状況から貧困を伴っていると考えられる案件も含めてお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| すべての相談（実人数）のうち、背景に貧困を伴うと考えられる相談の割合 | 約　　　　　　％程度（おおよそで結構です） |
| 上記のうち、子どものいる世帯の割合 | 約　　　　　　％程度（おおよそで結構です） |
| 貧困を伴う案件数の近年の傾向 | あてはまるもの一つに○をつけてください。　１　増加　　２　減少　３　変化なし　４　わからない |
| 世帯が経済的に困窮している要因 | 主なものに○をつけてください。（※いくつでも）　１　不就労　 ２　非正規雇用　３　ひとり親　４　病気　５　障害　　 ６　借金　　　　７　浪費　　　８　多子９　外国人　10　その他（　　　　　　　　　　　　　） |

**Ⅲ　背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯について**

※　これまで実際に相談を受けた、背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯の**全般的傾向**についてお答えください。相談の主な内容が経済的な困窮でない場合でも、その他の状況から貧困を伴っていると考えられる案件も含めてお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| 背景に貧困を伴うと考えられる案件のうち、子どものいる世帯に多く見られる困難な状況等 | 主なものに○をつけてください。（※いくつでも）　１　不登校　　　２　退学　　　　　３　虐待４　いじめ　　　５　素行不良　　　６　学力の不足７　進学の断念　８　医療機関未受診　９　不衛生（入浴しない、洗濯しない、ごみの放置　等）　10　食育不全（欠食、栄養不足）　11　孤食12　給食費等未払　13　学用品等を購入できない　　14　学校行事（修学旅行等）の参加断念15　地域からの孤立 |
| ①上記についての具体的事項 |  |
| ②上記以外で、その他特徴的な事項 |  |
| 他機関を経由してあなた（貴団体）へ相談に来た場合の経由機関 | 主なものに○をつけてください。（※いくつでも）　１　保育所・幼稚園等２　小学校・中学校（SC、SSWを含む。）　３　高等学校・専門学校等（SC、SSW等を含む。）　４　市役所または町役場　５　福祉事務所　６　児童相談所　　　　　７　母子・父子自立支援員　８　民生委員・児童委員　９　社会福祉協議会10　ハローワーク　　　 11　医療機関12　NPO法人　　　　 13　その他（　　　　　　　　） |
| あなた（貴団体）から他機関へつないだ場合のつなぎ先 | 主なものに○をつけてください。（※いくつでも）　１　保育所・幼稚園等２　小学校・中学校（SC、SSWを含む。）　３　高等学校・専門学校等（SC、SSW等を含む。）　４　市役所または町役場　５　福祉事務所　６　児童相談所　　　　　７　母子・父子自立支援員　８　民生委員・児童委員　９　社会福祉協議会10　ハローワーク　　　 11　医療機関12　NPO法人　　　　 13　その他（　　　　　　　　） |
| 他機関と連携する際の問題点 |  |
| その他、子どものいる貧困世帯を支援する際の問題点や支援施策の活用における問題点 |  |

**Ⅳ　子どもの貧困対策にかかる支援について**

※　あなた（貴団体）が受けた相談のうち、**実際に支援を行った（または他機関につないだ）案件について、**各種支援施策の利用状況等をお答えください。

**「利用状況」**欄には、次の１～６の番号のうち、あてはまるものを一つ記載してください。

１　相談者が利用した　または　利用できるよう他機関につないだ

２　利用を検討したが、要件に合致せず、まったく利用したことがない

３　相談者に制度の周知のみを行った

４　該当するかどうか不明な案件であったため、周知を行っていない

５　該当する案件がなく、制度の利用や周知、他機関へのつなぎを行ったことがない

６　制度を知らない

　「利用状況」欄で「１　相談者が利用した　または　利用できるよう他機関につないだ」を選択した場合、**「利用効果」**欄に、次の１～５の番号のうち、あてはまるものを一つ記載してください。

１　状況改善に非常に効果があった

２　状況改善に少し効果があった

３　あまり効果がなかった

４　利用期間が短く、効果はまだわからない

５　他機関へつないだ等の理由により、相談後は関与しておらず、効果はわからない

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 各種支援施策 | 利用状況 | 利用効果 | 効果がなかった理由（利用効果３を選択した場合） | 支援策の改善点として考えられること |
| 1. ＳＣ・ＳＳＷ等への相談
 |  |  |  |  |
| 1. 保育所や幼稚園の利用料の減額や免除
 |  |  |  |  |
| 1. 小中学校の就学援助、特別支援教育就学奨励費
 |  |  |  |  |
| 1. 高等学校等就学支援金(高等学校の授業料支援)
 |  |  |  |  |
| 1. 修学資金等の貸付、奨学金
 |  |  |  |  |
| 1. 住居確保給付金
 |  |  |  |  |
| 1. 生活保護
 |  |  |  |  |
| 各種支援施策 | 利用状況 | 利用効果 | 効果がなかった理由（利用効果３を選択した場合） | 支援策の改善点として考えられること |
| 1. 児童扶養手当や障害・難病の手当（特別児童扶養手当等）
 |  |  |  |  |
| 1. 高等職業訓練促進給付金又は貸付金、自立支援教育訓練給付金
 |  |  |  |  |
| 1. ハローワーク等での就労サポート
 |  |  |  |  |
| 1. 地域による食事支援（子ども食堂等）
 |  |  |  |  |
| 1. 生活困窮世帯、ひとり親家庭等への学習支援
 |  |  |  |  |
| 1. 地域による学習支援（放課後子供教室等）
 |  |  |  |  |
| 1. 公的機関窓口（市役所、町役場、福祉事務所、児童相談所等）での相談
 |  |  |  |  |
| 1. 公的機関の電話、メール、SNSでの相談
 |  |  |  |  |
| 1. 子どもの一時預かり（放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育等）
 |  |  |  |  |
| 1. 病児・病後児保育
 |  |  |  |  |
| 1. ホームヘルパーによる一時的な育児・家事の援助（子育てホームヘルプサービス）
 |  |  |  |  |
| 1. その他

（　　　　　　　　　） |  |  |  |  |
| 1. その他

（　　　　　　　　　） |  |  |  |  |

ご協力、ありがとうございました。